

こども委員会のよりみちコラム

作成者：舘越 容子

作成日：8月26日

「特別支援教育と作業療法フォーラム 12月に開催します！」

今、私がこの原稿を書いているのは8月下旬、秋の虫の音を聞きながらパソコンに向かっています。夏休みを終えた子供達が学校に通い始め、いつもの日常が戻ってくる、そんな時期です。「気持ち新たに2学期もがんばるぞ～」と思う子、「また学校始まっちゃったよ～」と思う子、新学期に臨む気持ちは十人十色かもしれません。

不登校の児童数が過去最多を更新している近年、新学期にクラス全員が元気に顔を合わせられることは以前よりも減ってきているようです。2024年に行われた、不登校の要因を学校・家庭・本人それぞれを対象とした調査によると、それぞれの回答対象によって差があるものの、「学業不振」「いじめ」「体調不良」「不安・抑うつ」「生活リズムの不調」などが上位に挙げられています。また、登校はしていても、長期休暇後にペースが戻らない、体力が落ちて歩けなくなった等のお悩みは特別支援学校に通う児童生徒にも聞かれる内容です。

12月6日に開催する作業療法フォーラムでは、長期休暇の生活リズムの乱れや不活動による問題を考慮し、『私たちは生活リズムをどう捉えるか』というテーマで、うめだ・あけぼの学園学園長、作業療法士の酒井康年先生を講師にお迎えしご講演いただきます。

冬の長期休暇前に、3学期を元気に迎えるためのポイントを知るよい機会かもしれません。皆様のご参加をお待ちしております！

